

岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口 令和7年度 事業報告書

社会福祉法人新生会 みちのく療育園メディカルセンター内
岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口

管理責任者	小山 耕太郎
医療的ケア児等コーディネーター	大力 聡美
事務員	三浦 尚子

岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口 業務概要

(ア)(イ)(ウ)相談支援業務:令和7年4月1日～令和8年3月31日実績

その他、主催事業や研修等:令和7年4月1日～令和8年3月31日実績

以下に関する業務を行うこと。なお、これらに附随した業務も担うこと。

ア 相談支援

ア	医療的ケア児及びその家族への相談対応、活用可能な社会資源等の情報提供
イ	医療的ケア児等からの相談内容に応じた地域支援者への取り次ぎ及びフォローアップ
ウ	医療的ケア児等コーディネーター等の地域支援者への専門的なサポート
エ	医療的ケア児及びその家族を対象とした交流会の実施
オ	新生児集中治療室(NICU)等のカンファランスへの参加を通じた在宅移行支援

イ 体制構築支援

ア	地域の医療的ケア児支援に係る協議の場等での専門的な情報提供及び助言企画・調整等
イ	医療的ケアアドバイスチーム設置に向けた医療関係者等との調整
ウ	短期入所事業所開設拡充等の医療的ケア児支援に係る研修や一般向けセミナーの実施
エ	県主催の医療的ケア児支援に係る会議等への参加
オ	県内における外部主催の各種研修への対応(講師・参加等)

※留意点

市町村をはじめ、地域における関係機関の対応力が向上し、相談支援体制等の充実・強化が図られるよう、支援や助言を行うこと。

【受託業務報告】

ア 相談支援

(ア)医療的ケア児及びその家族への相談対応、活用可能な社会資源等の情報提供

(イ)医療的ケア児等からの相談内容に応じた地域支援者への取り次ぎ及びフォローアップ

(ウ)医療的ケア児等コーディネーター等の地域支援者への専門的なサポート

○相談業務(別紙参照)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医療的ケア児の 個別ケースに関する相談	新規	3	2	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	12
	継続	18	22	8	13	6	9	17	23	5	6	14	13	154
支援者自身の 困りごとに関する相談	新規	0	4	6	1	3	4	2	1	1	1	2	1	26
	継続	1	1	8	6	2	1	0	0	0	1	5	3	28

【相談の特徴】

- ・令和6年度に比べ相談件数は減少している。
- ・R7年度で小児科合同カンファランスから在宅移行支援へつながったのは 4ケースあった。
- ・保護者から相談をいただいたのは12件あった。
- ・0～3歳までの相談が多い。
- ・相談内容で多いのは在宅移行支援、就園、就学、短期入所等障害福祉サービスに係ることなどが多い。
- ・県内の各自治体で個別避難計画策定や避難訓練に係る相談が増えている。

○相談支援に係る支援会議・訪問・面談

個別ケースに係る支援会議	23件
医療機関・事業所への訪問、訪問・見学同行	8件
地域支援者と自宅訪問	3件
保護者・支援者との面談	1件
オンライン情報交換会(釜石市)	1件

- ・家庭で養育困難になったケースへ関係機関と連携し介入している。
- ・初めて自治体に医療的ケア児が生まれたケースや、自治体で初めて医療的ケア児が保育園に入園したケースについて、自治体と一緒に保育園支援として継続的に介入している。
- ・短期入所等、障がい福祉サービスの利用を希望しても地域に該当施設が無いケースに継続的に介入している。
- ・強度行動障害のある医療的ケア児の短期入所事業所について相談支援専門員と共に継続的に介入している。

○公式LINE

【目的】医療的ケア児とそのご家族に直接・素早く・正しい情報を届ける

【内容】①岩手県医療的ケア児支援センターの事業情報

②岩手県からの関連情報

③自治体・支援者・家族会からの関連情報

【登録者】令和8年3月末現在 553名

【情報発信】60件

医療的ケア児支援センターからのお知らせ	15件
外部事業に係るお知らせ	45件

【振り返り】主催事業の報告も行っている。

- ・災害時、県の災害対策本部が設置されたら「いわて防災情報ポータル」についてお知らせしているが、夜間に設置されることもあり、情報発信のあり方について課題を感じている。



主催事業のお知らせや事業報告、家族会のお知らせ、各種研修やセミナー、イベントの情報発信を行っている



○医療的ケア児のための就学・進学説明会(岩手県教育委員会共催)

【目的】①医療的ケア児の保護者に就学・進学に関する正しい情報を伝え、早期支援につなげる

②就学・進学する医療的ケア児を自治体ごとに事前に把握し、スムーズな支援につなげる体制構築を促す。

③教育・福祉の相互理解を促し、地域で保護者へ必要な情報提供ができるよう体制構築を目指す

【開催日・開催地】 6月 2日(月) 盛岡市 ふれあいランド岩手 ふれあいホール

ハイブリッド開催(会場・zoom)

【参加者の状況】

- ・参加者数:会場24名+オンライン27名
- ・構成:行政職員(9名)、福祉関係者(5名)、教育関係者(5名)、保護者(3名)

【振り返り】

- ・アンケート結果では参加者の大半が「満足」、「不安が解消された」と回答
- ・具体的な事例を通して就学までの流れや学校生活の様子を伝えた
- ・学校での受け入れ実績をどう積み重ねていくかが課題
- ・今後の取り組みとして、支援体制や受け入れガイドラインの明示、事例集の配布などを行い、地域間の情報格差を解消していくことが大切



○医療的ケア児の教育に関わる支援者情報交換会

【目的】①学校での訪問看護の活用事例を紹介し、看護師配置を検討する市町村へ情報提供する。

②「就学・進学」に限定せず、医療的ケア児の教育に関わる支援者と広く情報交換することで、地域の早期相談体制が整ったその先にセンターに求められる役割を模索する。

【開催日】 6月 2日(月) 盛岡市 ふれあいランド岩手 ふれあいホール(現地開催)
(就学進学説明会と同日開催)

【内容】①「岩手県内の医療的ケア児の就学について」 岩手県教育委員会教育室

②「訪問看護ステーション活用による学校看護師配置の事例紹介」

公益社団法人岩手県看護協会(岩手県訪問看護総合支援センター)

【参加者の状況】

・参加者数:29名

参加者内訳:福祉関係者10名、行政職員7名、教育関係者5名、その他7名

【振り返り】

- ・情報交換会のグループ分けは、あえて地域や職種を混ぜておこなった。こうすることにより自身の勤める地域だけではなく、他地域の課題を知る事や他職種の視点を知る事ができることをねらいとした。
- ・アンケート結果からは、他地域を知ることができ、他職種の視点についても知る事ができた。
- ・医療的ケア児の支援については地域で支援が重ねられ、協議の間ではいつも同じ顔ぶれになるとの意見もあったため、今後もこのような地域を超えた情報交換を行う場を作っていくことが、それぞれの地域の力を高める一助となると考える。

(工)医療的ケア児及びその家族を対象とした交流会の実施

○当事者交流事業医療的ケア児・者の「遊びと語りの場」I care パーク(岩手県子育て支援室協力)

【テーマ】『居場所』病気や障がいがあってもなくても、子どもも大人も楽しさを共有しながら、どんな居場所があったらいいかみんなで語り合う

【目的】①子どもも保護者も楽しむ場の提供を通し、子育てのたのしさを知る機会の提供を行う

②保護者同士のつながりを作る

③各地域で活躍している医療的ケア児等コーディネーター等に参加していただき、顔の見える関係性作りの場とする

【内容】①「岩手県医療的ケア児支援の取組み」について報告

岩手県保健福祉部障がい保健福祉課 高橋幸宏 氏

②講演『いわてに、こどもホスピスを』

一般社団法人 いわてこどもホスピス代表 工藤 美穂 氏

③茶話会、工作コーナー、「おはなしの森まつぼっくり隊」による読み聞かせ等

【開催日時・場所】令和8年2月21日(土)10:00~12:00

ふれあいランド岩手 ふれあいホール

【参加者】申込者数42名、当日参加37名

内訳:当事者8名、保護者16名、きょうだい4名、その他ご家族3名、支援者6名

【振り返り】

- ・こどもホスピスへの理解が深まった。官民一緒になって実現できればいいのという感想があった。
- ・低年齢のお子さんと保護者に多く参加してもらい、先輩保護者さんから話を聞いたり、家族会ともつながることができていた。
- ・きょうだいや父親など家族みんなで参加しているご家族が多かった。
- ・福祉サービスの利用や就園、就学など、今利用しているサービスのことや今後利用するものなどについても、先輩保護者から情報提供や体験談を聞き、共有することができていた。
- ・相談先について自治体ごとになっているが、周知されていない自治体もあり、格差が大きいことが共有された。住んでいる自治体だけではなく、他の自治体についても知ることで、サービスや制度についての知見を広げる場となっていた。



○地域で開催される家族会等への参加等

家族会への参加	2件
外部事業所主催の家族交流会への参加	1件

※詳細は別添資料参照

【振り返り】

- ・ご家族からのお話を聞く事で、地域間格差について知ることができた。
- ・宮古市若竹会主催の三陸鉄道乗車体験会は、普段電車に乗る機会が少ない医療的ケア児にとって貴重な機会であり、家族みんなが楽しめるイベントであった。県内各地でこのようなイベントを地域の知見を広げる場となっていた。事業所が開催することに意義があると感じた。

(オ)NICU・GCU主催のカンファランス出席、在宅移行支援

○小児科合同カンファランス参加状況:8件

【開催日・場所】毎月第2木曜日 13時～ 岩手医科大学附属病院

【参加月】4月、6月、7月、9月、10月、11月、1月、3月

【振り返り】

- ・地域の医療的ケア児等コーディネーターの認知度が上がっており、退院時支援会議に地域のCoが参加することが多くなっている。
- ・カンファランス後も病棟看護師や退院支援看護師、MSWと情報交換を行っている。

イ 体制構築支援

(ア)地域の医療的ケア児支援に係る協議の場等での専門的な情報提供及び助言

○地域の協議の場への参加:11件

自立支援協議会への参加	5件
自立協以外の協議の場への参加	6件

【振り返り】

- ・宮古圏域自立支援協議会は今年度初めて個別ケースの課題を協議する場が設けられた。
- ・気仙地域障がい者自立支援協議会は保護者も参加していたが、個別ケースの話し合いを行う場合は、支援者のみで開催していた。
- ・一部の地域では、参加者からの報告の他、個別ケースからの地域課題を協議する段階になっている。

(イ)医療的ケアアドバイスチーム設置に向けた医療関係者等との調整

○地域におけるアドバイスチームの意義について

- ・就園、就学などライフステージの変化に伴い、その準備をするときに本人の状態に関して医学的に正しい情報が必要となる。医師をはじめ医療職から客観的判断ができる情報が得られると、その根拠をもとに準備を進めることができる。
- ・地域の基幹病院が支援会議等に参加することにより、地域にどのような子どもが生活しているのか、地域の支援者の誰が関わっているのかを医療職が知ることができる。
- ・個別支援会議を通じて地域の課題を知ることができる。

○関係機関訪問 9件 ※詳細は別添資料参照

自治体訪問	2件
病院訪問	4件
事業所訪問	1件
病院との支援会議	2件

【振り返り】

- ・北上市は継続して地域と医療との協働を働きかける必要がある。
- ・一関市は災害対策を通じて県立病院との連携ができつつある。
- ・二戸市は行政内の連携もスムーズであり、医療との連携もできている。医療的ケア以外にも発達障害や不登校のケースについても情報共有するなど広がりができている。
- ・スーパーバイズ設置地域以外にも、八幡平市は医療的ケア児の保育所入所を通じて行政と医療との連携が図られた。

(ウ)医療的ケア児支援に係る研修・啓発セミナーの実施

○ICCC事業(Iwate Care Coordinator Collective)

【目的】令和元年度に始まった医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者は令和7年度で200名以上いるが、実務に携わっている者が少なく、また、業務をするうえでもコーディネーター同士の横の連携が取れていない実情がある。そのため、修了者を対象としたネットワーク(ICCC)を構築し、
①情報提供と②知識や技術の向上の2点に取り組むことを目的とする。

【内容】①情報提供(岩手県医療的ケア児等コーディネーター向けのメール配信サービス)
②岩手県医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者向け勉強会

【第5回ICCC勉強会(実践報告会)】

【テーマ】岩手の地域力 ～次の一歩へ～

【目的】令和6年度に開催した地域の中におけるつながり方に関する勉強会を具現化するため、
①基調講演においては、県外の先進事例から「いわてで実践できること」を考える
②実践報告会においては、各地の支援者から直接的に支援者が学ぶ機会を提供する
③運営には各市町村のコーディネーターに参加してもらい、地域実践の参考としてもらう

【日時・場所】

県北会場 6月19日(木) 10時30分～15時 八幡平市市役所

県南会場 7月 8日(火) 10時30分～15時 遠野市あえりあ遠野

【内容】

<県北会場>

基調講演:認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク 下村 美紀 氏

「明日への希望と勇気を引き出す支援一病気や障がいのあるこどもと家族とともに」

実践報告会

①相談支援部会:相談支援事業所ひだまり 管理者・相談支援専門員 大石 幸子 氏

一関市健康こども部児童保育課 入所入園係 金今 沙紀 氏

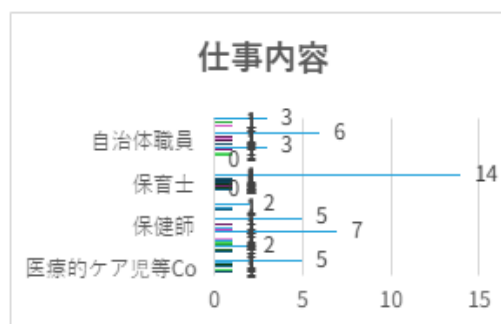
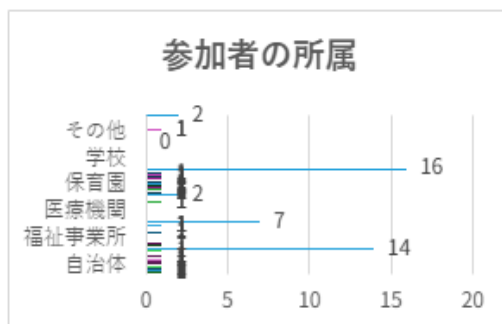
岩手町役場健康こども課課長補佐 鈴木 智子 氏

②支援者部会:発達支援センター風 田向 加代子 氏

児童発達支援センター かぐや 所長(管理者) 岡崎 薫 氏

盛岡医療センター 児童指導員 高橋 唯 氏

参加者:事前参加申し込み37名、当日参加38名



<県南会場>

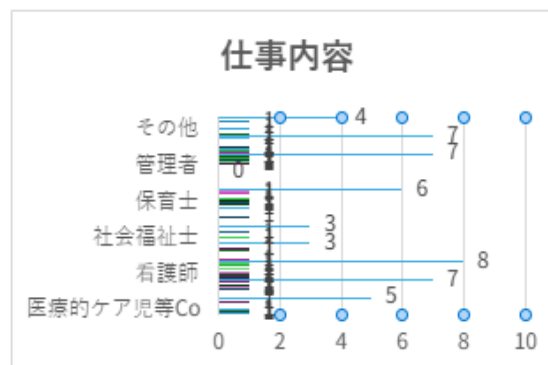
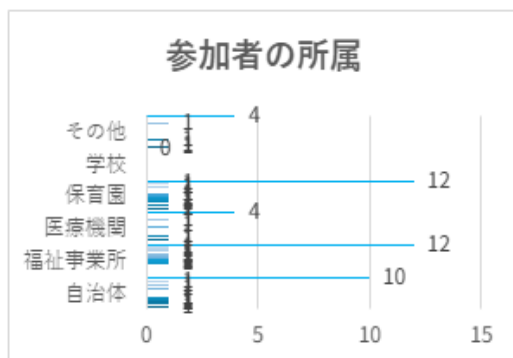
基調講演:宮城県医療的ケア児者支援センター 社会福祉士・主任相談支援専門員 太田 勇樹 氏

「こどもを中心にした支援～宮城県の地域づくりから考える～」

実践報告会

- ①相談支援部会 相談支援事業所ライトハウス 主任相談支援専門員 藤原 伸哉 氏
盛岡市医療的ケア児等コーディネーター 猿舘 寛 氏
- ②支援者部会 こどものデイサービスなないろ・なないろぷち 所長 関 ミチル 氏
訪問看護ステーションくるく 主任訪問看護師 菅原 美江 氏
岩手県立療育センター つくしんぼ 保育士 佐々木 智子 氏

参加者:事前申し込み48名、当日参加50名



【振り返り】

- ・内容を多く詰めてしまったため、1つ1つの時間が短くなってしまった。
- ・分科会方式で開催したが、このような形になれていない福祉職や保育職の参加者からは戸惑いの声も聞かれた。実際に2会場を行き来した参加者は少なかった。参加者に合わせた研修会の開催方法については検討が必要。
- ・内容については勉強になったという声が多く、地域で実践が積まれていることや支援の幅も広がっていることが分かる研修会だった。来年度以降も地域の実践者が講師となり、他地域と交流を持ちながら地域力を高めていけるような研修を開催したい。

○医療的ケア出張講座

【目的】①実際にモデル人形を用いて医療的ケアを体験することで医療的ケアへの理解を深めてもらう。また、地域で医療的ケア児を受け入れる準備として実技研修を行うことで支援者も安心して受け入れを進めることができる。

②実際に医療機器を装着しながら移動をしてみることで、支援者が具体的にどのような視点で支援を行ったらよいのか知ることができる。

また、災害時に避難する際、どのくらい時間がかかるのか等行動指針を決める参考としていただく。

【対象】岩手県内の学校・保育園・通所事業所・行政等団体を主な対象者とし、それ以外にも医療的ケアを学びたい方についても対応する。

【開催方法】申込者の用意した会場へ医療的ケアモデル人形や医療機器を持参し実技の体験をしていただく。

【内容】 A 基礎講習(90分)

・医療的ケアの説明、医療的ケアの体験、質疑応答

実施可能なケア

(経鼻経管栄養・胃瘻からの経管栄養・気管カニューレ管理・吸引・導尿)

B 移動体験講習(180分)

・A基礎講習の内容＋医療機器を実際に利用しながらの移動体験

【実施状況】全受講者数135名

A 基礎講習10件

B 移動体験講習 0件 ※詳細は別添資料参照

福祉サービス事業所	4 件
教育機関	2 件
こども園	2 件
自治体・自立支援協議会	2 件

参加者内訳

看護師	20	保育士	13
児発・放デイ職員	17	相談支援専門員	5
生活介護職員	8	行政職員	6
学校職員	65	学生	1

計135名

【振り返り】

・医療的ケア基礎講習(経鼻経管、気管切開、吸引、胃ろう、導尿)以外にも、個別ケースのケアに関する研修の希望が増えており、今後の出張講座の在り方を検討する時期にきている。

○市民公開講座「つたえたいこと」 後援:岩手県教育委員会

【目的】

医療的ケアのあるご本人や、日頃支援に携わっているかたの「想い」を伝えることで、医療的ケアに広く関心を持ってもらう

【日時】

令和7年9月19日(金) 13:00~16:00

令和7年9月20日(土) 10:00~12:00/13:00~14:00

【場所】 岩手県民情報交流センター「アイーナ」 4階

講演会 アイーナスタジオ

体験コーナー 県民プラザA

パネル展 県民プラザB・C

【内容】



岩手県医療的ケア児支援センター主催
市民公開講座「つたえたいこと」

医療的「ケア」が必要になる病気の障がいがある人、
その家族、支えるお仕事をする人、
みんなが「つたえたいこと」を熱く話そう。

出会って、聞いて、触れて、体験して、
あなたがつたえたいことは、なんだろうか。
あなたがつたえたいことは、なんだろうか。

日時 令和7年9月19日(金) 13:00~16:00
9月20日(土) 10:00~12:00/13:00~14:00

場所 岩手県民情報交流センター「アイーナ」4階
アイーナスタジオ

体験コーナー会場及びパネル展会場 県民プラザA・B・C

講演は事前申込制(各講演定員40名)

【特別講演】「してほしい・岩手県内のとくみ」
岩手県保健福祉部障がい保健福祉課
岩手県復興防災部復興くらし再建課
岩手県保健福祉部子ども子育て支援室
岩手県教育委員会学校教育室
一関市健康子ども部児童教育課
久慈市教育委員会事務局学校教育課

講演会のお申込はこちら

ポスター



講演会タイムテーブル 岩手県民情報交流センター「アイーナ」4階 アイーナスタジオ

9月19日(金) 13:00~16:00

「してほしい・岩手県内のとくみ」
岩手県保健福祉部障がい保健福祉課
岩手県復興防災部復興くらし再建課
岩手県保健福祉部子ども子育て支援室
岩手県教育委員会学校教育室
一関市健康子ども部児童教育課
久慈市教育委員会事務局学校教育課

講演会のお申込はこちら

9月20日(土) 10:00~12:00

「こどもによりそうお仕事」
医師：岩手医科大学附属病院 小児科
看護師：ソノド訪問看護ステーション
教師：岩手県教育委員会学校教育室
保育士：こどものデイサービスなないろ
介護士：アースサポート 株式会社
相談支援専門員：イーハートップ養育センター

9月20日(土) 13:00~14:00

「つたえたいこと」
県内の高校に通う生徒さん

パネル展 岩手県民情報交流センター「アイーナ」4階 県民プラザ

アイライン岩手の会
岩手医科大学
岩手県養護協会
岩手県歯科医師会
岩手県重症心身障害児(者)を守る会
岩手県小児慢性特定疾病児童自立センター
岩手県訪問看護総合支援センター
岩手県立大学防災復興支援センター
岩手県薬剤師会

同時開催：ポスターセッション作品展
協力：岩手県立病院とたん支援学校

体験コーナー 岩手県民情報交流センター「アイーナ」4階 県民プラザ

防災展示コーナー
避難する時のくらの荷物になるの？
家族で避難する時どんな環境が良いの？
簡易トイレってうちの子ども使えるの？
マイタイムラインって？
有事に備えて今、できること。

協力：岩手県立病院とたん支援学校

えん下食紹介コーナー
えん下食ってなに？
えん下食はどんなのがあるの？
えん下食はどこで買えるの？
トロミ剤の種類は？
皆さまの「食事」のお悩み教えてください

協力：小田島アグティ

歯科ミニ相談コーナー
「歯みがきのしかた」「歯ブラシの選びかた」などなど
日頃の歯やお口の悩み
歯科医や歯科衛生士に聞いてみませんか？

協力：みちのく療育園メディカルセンター

プログラム

○講演会

事前申込者数

9月19日(金)	午後 25名
9月20日(土)	午前 36名
	午後 27名

・当日参加者も多数あり、2日間で延べ100名以上が参加したと考えられる。

○パネル展 ・参加団体23団体

アイライン岩手の会

岩手医科大学

岩手県栄養士会

岩手県看護協会

岩手県歯科医師会

岩手県重症心身障害児(者)を守る会

岩手県小児慢性特定疾病児童自立センター

岩手県訪問看護総合支援センター

岩手県立大学防災復興支援センター

岩手県薬剤師会

岩手県立療育センター かがやき・つくしんぼ

NPO法人 奏楽のたね

こどものデイサービスなないろ

紫波地域障がい者基幹相談支援センター

スヌーズレンとおもちゃの広場

ひだまり水沢☆きらり

訪問看護ステーションはなえみ

みちのく療育園メディカルセンター

歯科外来・入所等・ぽかぽか

盛岡市保健福祉部障がい福祉課

【振り返り】

○全体

- ・「医療的ケア児」については知らない方も多く、たまたま足を運んでくださった方々に知っていただくためにも医療的ケア児について体系的に説明するパネルをもっと目立たせたほうがよいと感じた。また、パネルだけではなく医療的ケアモデル人形を展示するなどイメージが湧くような工夫が求められていると感じた。
- ・ワンフロアにて講演会、パネル展、体験コーナーを一体的に開催したことで、各ブースと連動することができた。
- ・主催者が分かりにくいという声があり、来年度改善が必要と感じた。

○体験コーナー

- ・嚥下食体験コーナーは医療的ケア児の他、一般の来場者も多く足を止めていた。嚥下食の購入や活用について周知することができた。
- ・防災コーナーは防災に興味があり、これを目当てに来る方もいた。また、来場者が体験できるものがあると良いという声があった。
- ・歯科コーナーでは歯磨きなど口腔ケアについて啓発することができた。また、口腔ケアの試供品をお配りし、高齢者の方にも好評であった。

○運営について

- ・当日は支援センター職員の他、県教育委員会、県障がい保健福祉課、岩手県看護協会、岩手県訪問看護総合支援センター、岩手県社会福祉事業団、岩手医科大学歯学部から運営協力をいただいたほか、ボランティアとして岩手大学教育学部特別支援教育コース、もりおか自立支援プラザ様にご協力いただいた。
- ・来年度は地域のコーディネーターにも運営に加わってもらえるよう働きかけを行いたい。

(オ)県内における外部主催各種研修への対応(講師・参加等)

○県内研修講師：15件(※詳細は別添資料参照)

○研修への参加：9件(県内3件、県外6件) ※詳細は別添資料参照

○その他の参加：5件 (※詳細は別添資料参照)

その他

○令和7年度版 岩手県医療的ケア児災害時支援取組み事例集 発行

